

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6月 9日

京都府知事 様



提出者

住 所 大阪市中央区本町3-5-7

氏 名 清水建設株式会社 関西支店

専務執行役員 支店長 山下 浩一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6263-2846

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	清水建設株式会社 関西支店 京都営業所 (主な事業所 京福知山日本ピラー第2工場1期)
事業場の所在地	京都府京都市中京区河原町二条下一之船入384 (主な事業所 京都府福知山市長田野町3丁目17-6)
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2077 t	全処理委託量	2077 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2.1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1450.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	16.0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

産業政策處業務處理計畫實施方針及報告書の集計用シート上）

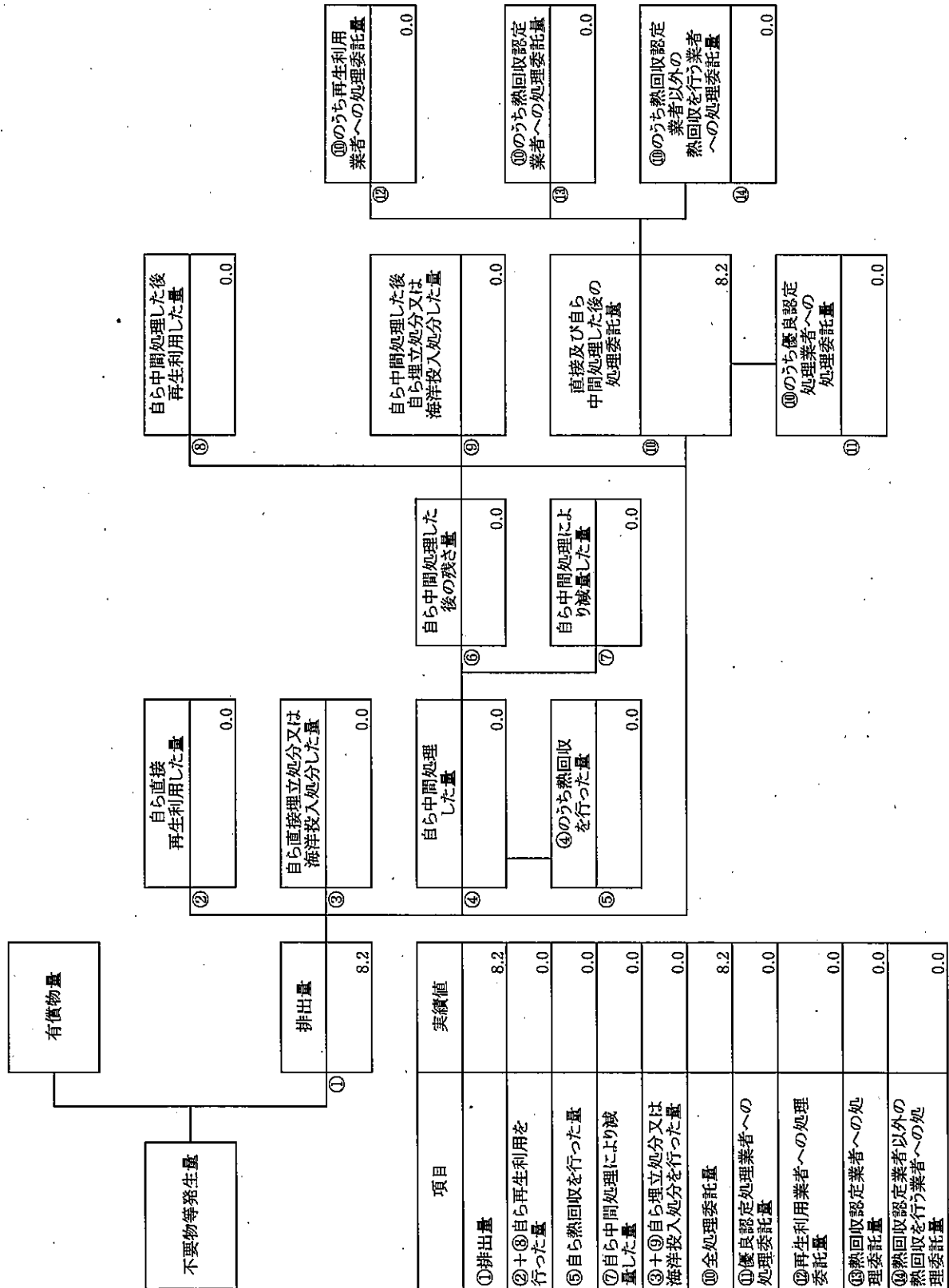
- ・ 産業廃棄物の種類ごと（排出したもの）に、①～⑯の各数値を記載してください。（自動で第2面に転記されます。）
- ・ 下表にない産業廃棄物を排出した場合は、「産業廃棄物の種類」欄に、品目を記載してください。
- ・ 行が足りない場合は、行を追加してください。（また、シートを追加して、第2面を作成してください。）

[illegible]

注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

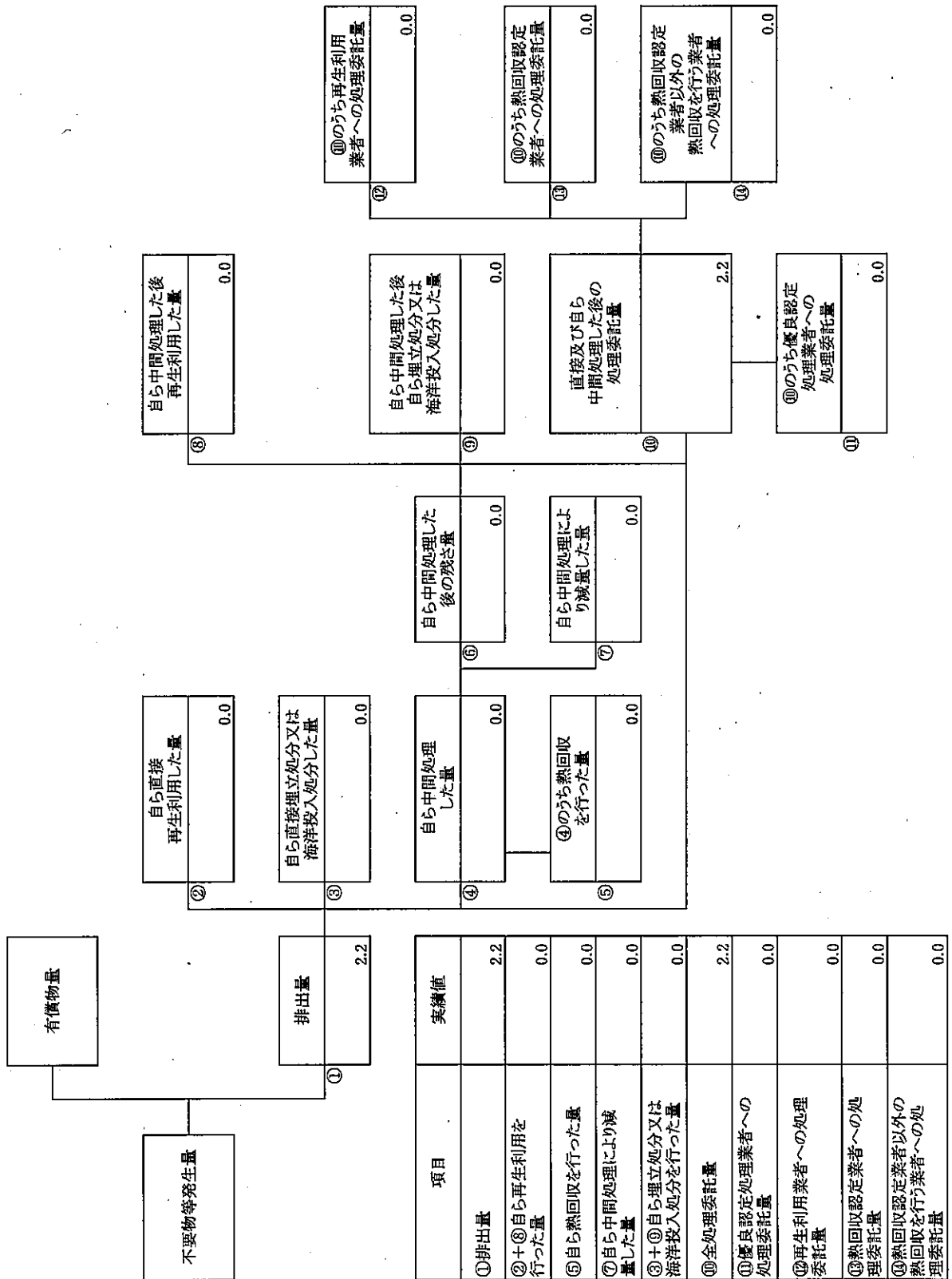
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

計画の実施状況



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず, コンクリートくず及び陶磁器くず)



(産業廃棄物の種類: がれき類)

計画の実施状況

有償物量		不要物等発生量	
②		①	
自ら直接 再生利用した量		排出量	
0.0		338.0	
③		④	
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量		自ら中間処理 した量	
0.0		0.0	
⑤		⑥	
④のうち熱回収 を行った量		自ら中間処理した 後の残量	
0.0		0.0	
⑦		⑧	
③+④自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		自ら中間処理した後 再生利用した量	
0.0		0.0	
⑨		⑩	
⑤自ら熱回収を行った量		直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	
0.0		338.0	
⑪		⑫	
⑦自ら中間処理により減 量した量		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
0.0		298.0	
⑬		⑭	
③+④自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
0.0		0.0	
⑮		⑯	
⑩全処理委託量		⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
338.0		0.0	
⑰		⑱	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
0.0		0.0	
⑲		⑳	
⑫再生利用業者への処理 委託量		⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
298.0		0.0	
㉑		㉒	
⑬熱回収認定業者への処 理委託量		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	
0.0		0.0	
㉓		㉔	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量		⑩のうち熱回収認定 業者への 処理委託量	
0.0		0.0	

項目	実績値
①排出量	338.0
②+③自ら再生利用を 行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0.0
③+④自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	338.0
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理 委託量	298.0
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.0

(産業廃棄物の種類: 木くず)

計画の実施状況

不要物等発生量		有償物量	
①		②	
排出量		自ら中間処理した後 再生利用した量	
763.4		0.0	
③		④	
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量		自ら中間処理した量	
0.0		0.0	
⑤		⑥	
④のうち熱回収 を行った量		自ら中間処理した 後の残さ量	
0.0		0.0	
⑦		⑧	
③+④自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		自ら中間処理した後の 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	
0.0		0.0	
⑨		⑩	
⑦自ら中間処理により減 量した量		直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	
0.0		763.4	
⑪		⑫	
③+④+⑤自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
0.0		763.4	
⑬		⑭	
⑥全処理委託量		⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
763.4		0.0	
⑮		⑯	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量		⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
0.0		0.0	
⑰		⑱	
⑫再生利用業者への処理 委託量		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
763.4		0.0	
⑲		⑳	
⑬熱回収認定業者への処 理委託量		⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
0.0		0.0	
㉑		㉒	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
0.0		0.0	

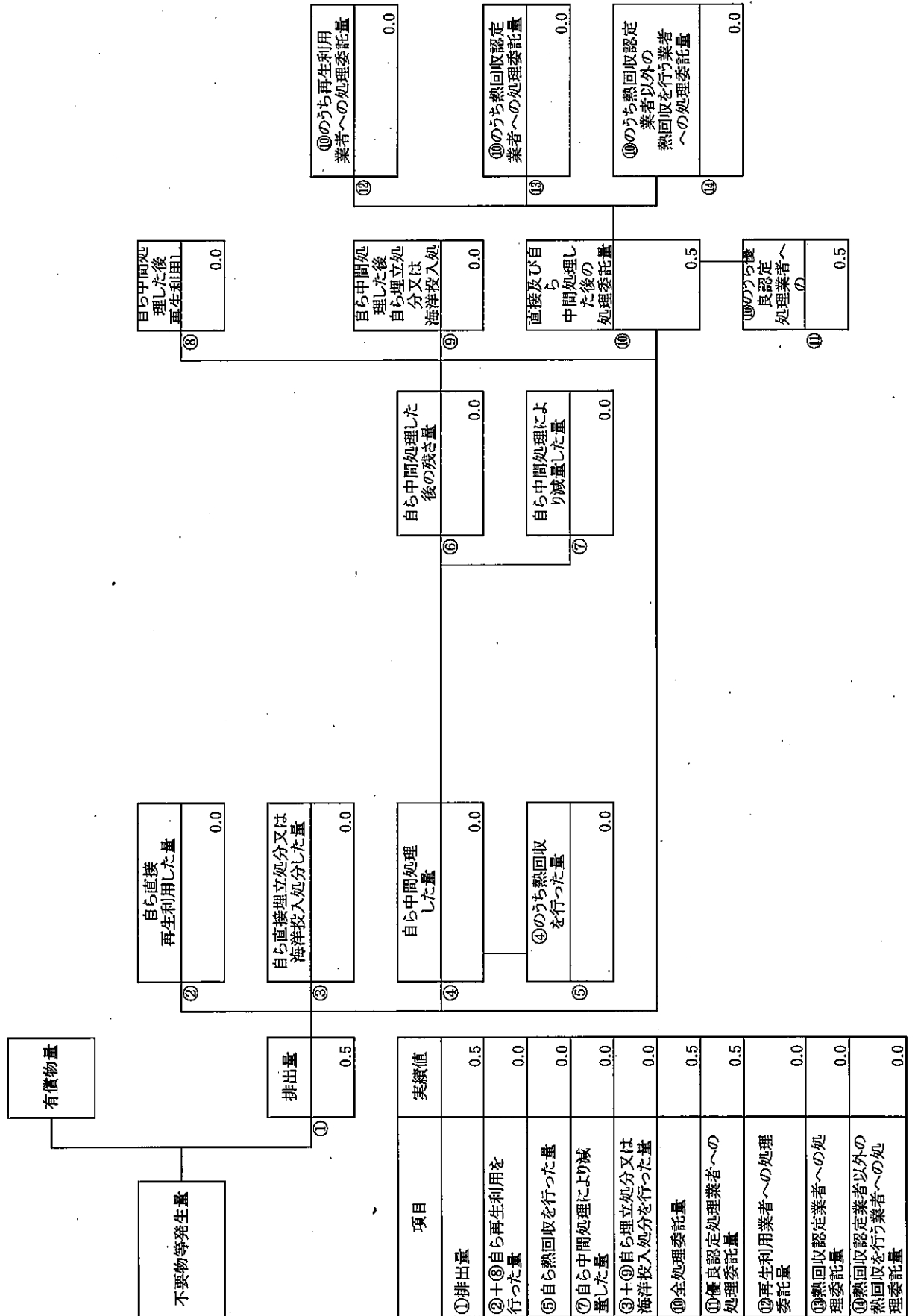
(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物(管理型))

計画の実施状況

有償物量		不要物等発生量		排出量		実績値	
② 自ら直接 再生利用した量 0.0		③ 自ら中間処理した後 再生利用した量 0.0		① 24.0		① 排出量 24.0	
③ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 0.0		④ 自ら中間処理 した量 0.0		② 24.0		② + ③ 自ら再生利用を 行った量 0.0	
④ ④のうち熱回収 を行った量 0.0		⑤ ④のうち中間処理した 後の残量 0.0		③ 24.0		⑤ ④のうち熱回収を行った量 0.0	
⑥ ⑥のうち熱回収 を行った量 0.0		⑦ ⑥のうち中間処理によ り減量した量 0.0		④ 24.0		⑦ ⑥のうち中間処理により減 量した量 0.0	
⑧ ⑧のうち熱回収 を行った量 0.0		⑨ ⑧のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑤ 24.0		⑧ + ⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量 0.0	
⑩ ⑩のうち熱回収 を行った量 0.0		⑪ ⑩のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑥ 24.0		⑩ 全処理委託量 24.0	
⑫ ⑫のうち熱回収 を行った量 0.0		⑬ ⑫のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑦ 24.0		⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量 0.0	
⑭ ⑭のうち熱回収 を行った量 0.0		⑮ ⑭のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑧ 24.0		⑫ 再生利用業者への処理 委託量 0.0	
⑯ ⑯のうち熱回収 を行った量 0.0		⑰ ⑯のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑨ 24.0		⑬ 熱回収認定業者への処 理委託量 0.0	
⑱ ⑱のうち熱回収 を行った量 0.0		⑲ ⑱のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑩ 24.0		⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量 0.0	
⑳ ⑳のうち熱回収 を行った量 0.0		㉑ ㉑のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑪ 24.0		⑯ 熱回収認定業者への 処理委託量 0.0	
㉒ ㉒のうち熱回収 を行った量 0.0		㉓ ㉓のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑫ 24.0		㉑ ㉑のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0.0	
㉔ ㉔のうち熱回収 を行った量 0.0		㉕ ㉕のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑬ 24.0		㉒ ㉒のうち熱回収認定 業者以外の熱回収を行う 業者への処理委託量 0.0	
㉖ ㉖のうち熱回収 を行った量 0.0		㉗ ㉗のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑭ 24.0		㉓ ㉓のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0.0	
㉘ ㉘のうち熱回収 を行った量 0.0		㉙ ㉙のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑮ 24.0		㉔ ㉔のうち熱回収認定 業者以外の熱回収を行う 業者への処理委託量 0.0	
㉚ ㉚のうち熱回収 を行った量 0.0		㉛ ㉛のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑯ 24.0		㉕ ㉕のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0.0	
㉜ ㉜のうち熱回収 を行った量 0.0		㉝ ㉝のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑰ 24.0		㉖ ㉖のうち熱回収認定 業者以外の熱回収を行う 業者への処理委託量 0.0	
㉞ ㉞のうち熱回収 を行った量 0.0		㉟ ㉟のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑱ 24.0		㉗ ㉗のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0.0	
㊱ ㊱のうち熱回収 を行った量 0.0		㊲ ㊲のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑲ 24.0		㉘ ㉘のうち熱回収認定 業者以外の熱回収を行う 業者への処理委託量 0.0	
㊳ ㊳のうち熱回収 を行った量 0.0		㊴ ㊴のうち中間処理によ り減量した量 0.0		⑳ 24.0		㉙ ㉙のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0.0	
㊵ ㊵のうち熱回収 を行った量 0.0		㊶ ㊶のうち中間処理によ り減量した量 0.0		㉑ 24.0		㉚ ㉚のうち熱回収認定 業者以外の熱回収を行う 業者への処理委託量 0.0	
㊷ ㊷のうち熱回収 を行った量 0.0		㊸ ㊸のうち中間処理によ り減量した量 0.0		㉒ 24.0		㉛ ㉛のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0.0	
㊹ ㊹のうち熱回収 を行った量 0.0		㊺ ㊺のうち中間処理によ り減量した量 0.0		㉓ 24.0		㉜ ㉜のうち熱回収認定 業者以外の熱回収を行う 業者への処理委託量 0.0	
㊻ ㊻のうち熱回収 を行った量 0.0		㊼ ㊼のうち中間処理によ り減量した量 0.0		㉔ 24.0		㉝ ㉝のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0.0	
㊽ ㊽のうち熱回収 を行った量 0.0		㊾ ㊾のうち中間処理によ り減量した量 0.0		㉕ 24.0		㉞ ㉞のうち熱回収認定 業者以外の熱回収を行う 業者への処理委託量 0.0	
㊿ ㊿のうち熱回収 を行った量 0.0		㋀ ㋀のうち中間処理によ り減量した量 0.0		㉖ 24.0		㊱ ㊱のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0.0	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

